

6. 生涯学習成果の活用の実態とニーズ

(1) 生涯学習成果の活用の実態

1) 生涯学習成果の活用経験

回答者が、生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験をどの程度生かしているのかをみたのが、図 41 である。

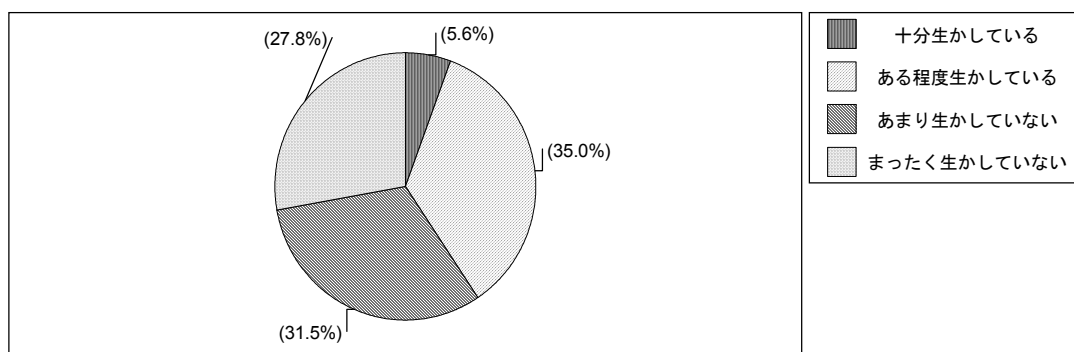


図 41 生涯学習成果の活用経験

その結果、生涯学習成果を「十分に生かしている」と回答した人の率は 5.6%、「ある程度生かしている」人の率を合わせると、40.6%の人が生涯学習成果を「生かしている」と回答していた。

これを性別にみたのが、図 42 である。

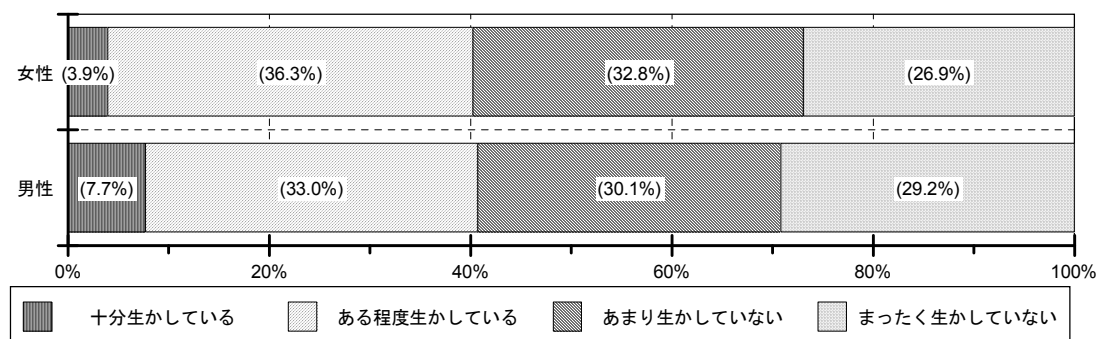


図 42 性別にみた生涯学習成果の活用経験

その結果、生涯学習成果を「生かしている」と回答した人の率は、「女性」で 40.2%、「男性」で 40.7%であり、男女間に明確な差は認められなかった。

次に、年代別にみたのが、図 43 である。

その結果、生涯学習成果を「生かしている」と回答した人の率は、「成人前期」の人で 33.2%、「成人中期」の人で 36.7%、「成人後期」の人で 49.0%であり、その率は、年代が高くなるにつれて高まる傾向が認められた。

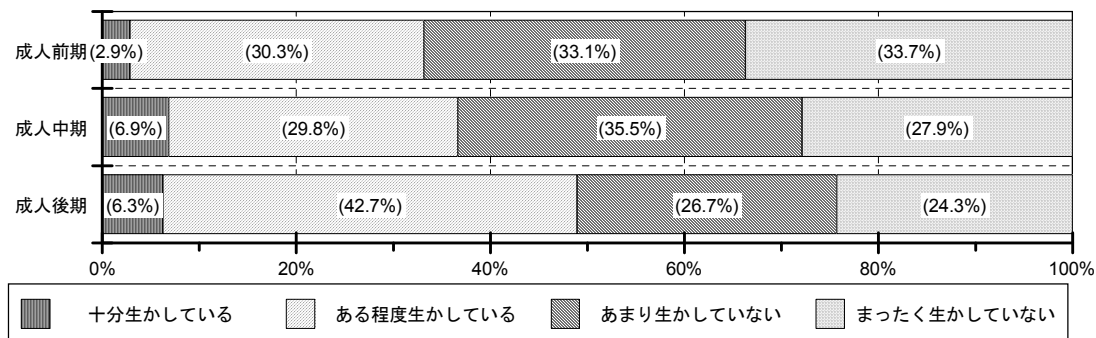


図 43 年代別にみた生涯学習成果の活用経験

2) 生涯学習成果の活用内容

生涯学習成果の活用内容をみたのが、図 44 である。

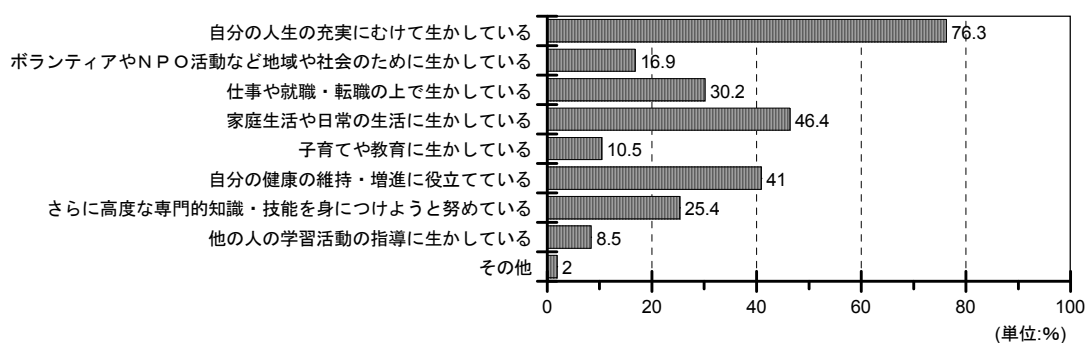


図 44 生涯学習成果の活用内容

その結果、活用内容としては、「自分の人生の充実にむけて生かしている」をあげた人の率が 76.3%でもっとも高く、次いで「家庭生活や日常生活に生かしている (46.4%)」、「自分の健康の維持・増進に役立てている (41.0%)」の順となっていた。

これを性別にみたのが、図 45 である。

その結果、男女とも「自分の人生の充実にむけて生かしている」をあげた人の率が高ことは共通していたが、次いで「女性」では「家庭生活や日常生活に生かしている」、「自分の健康の維持・増進に役立てている」の順、「男性」では「家庭生活や日常生活に生かしている」と「仕事や就職・転職の上で生かしている」となっていた。

相対的にみると、「自分の人生の充実にむけて生かしている」、「家庭生活や日常生活に生かしている」、「自分の健康の維持・増進に役立てている」では「女性」の、「仕事や就職・転職の上で生かしている」と「さらに高度な専門的知識・技能を身につけようと努めている」では「男性」の率が高くなっていた。

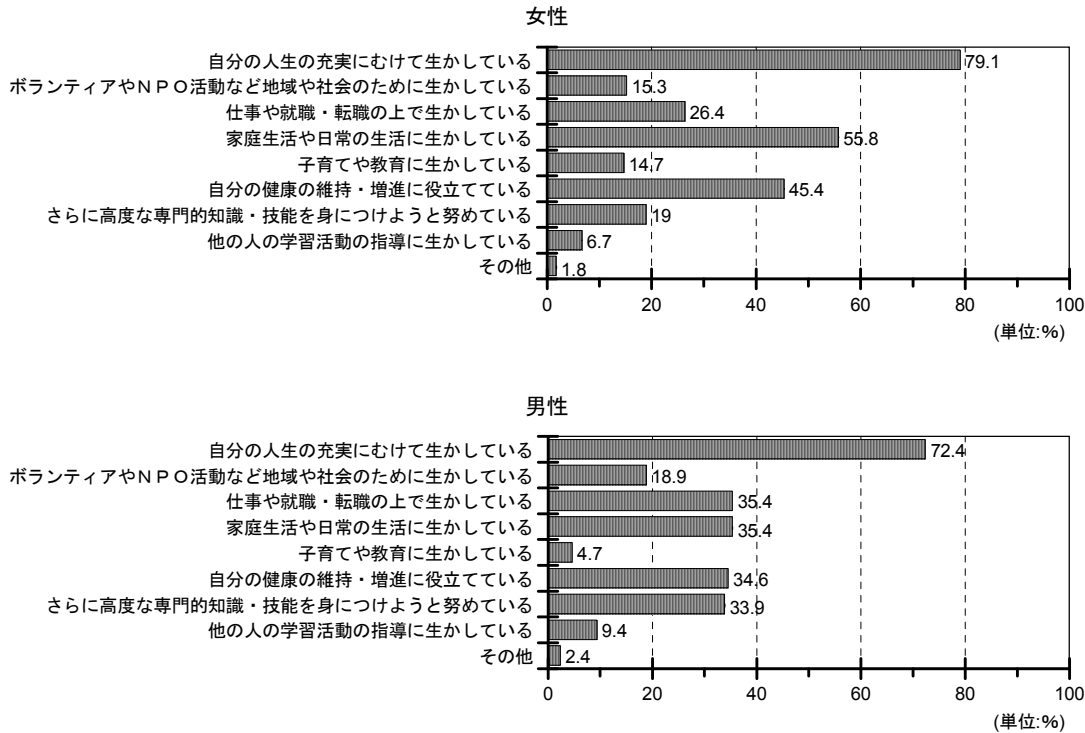


図 45 性別にみた生涯学習成果の活用内容

次に年代別にみたのが、図 46 である。

その結果、すべての年代で「自分の人生の充実にむけて生かしている」をあげた人の率が高かったことは共通していたが、次いで「成人前期」の人では、「仕事や就職・転職の上で生かしている」、「家庭生活や日常生活に生かしている」の順、「成人中期」の人では「家庭生活や日常生活に生かしている」、「仕事や就職・転職の上で生かしている」の順、「成人後期」の人では「自分の健康の維持・増進に役立っている」、「家庭生活や日常生活に生かしている」の順となっていた。

相対的にみると、「仕事や就職・転職の上で生かしている」では「成人前期」の人の、「さらに高度な専門的知識・技能を身につけようと努めている」では「成人前・中期」の人の、「家庭生活や日常生活に生かしている」では「成人中・後期」の人の、「自分の人生の充実にむけて生かしている」、「ボランティアやNPO活動など地域や社会のために生かしている」、「自分の健康の維持・増進に役立っている」では「成人後期」の人の率が高くなっていた。

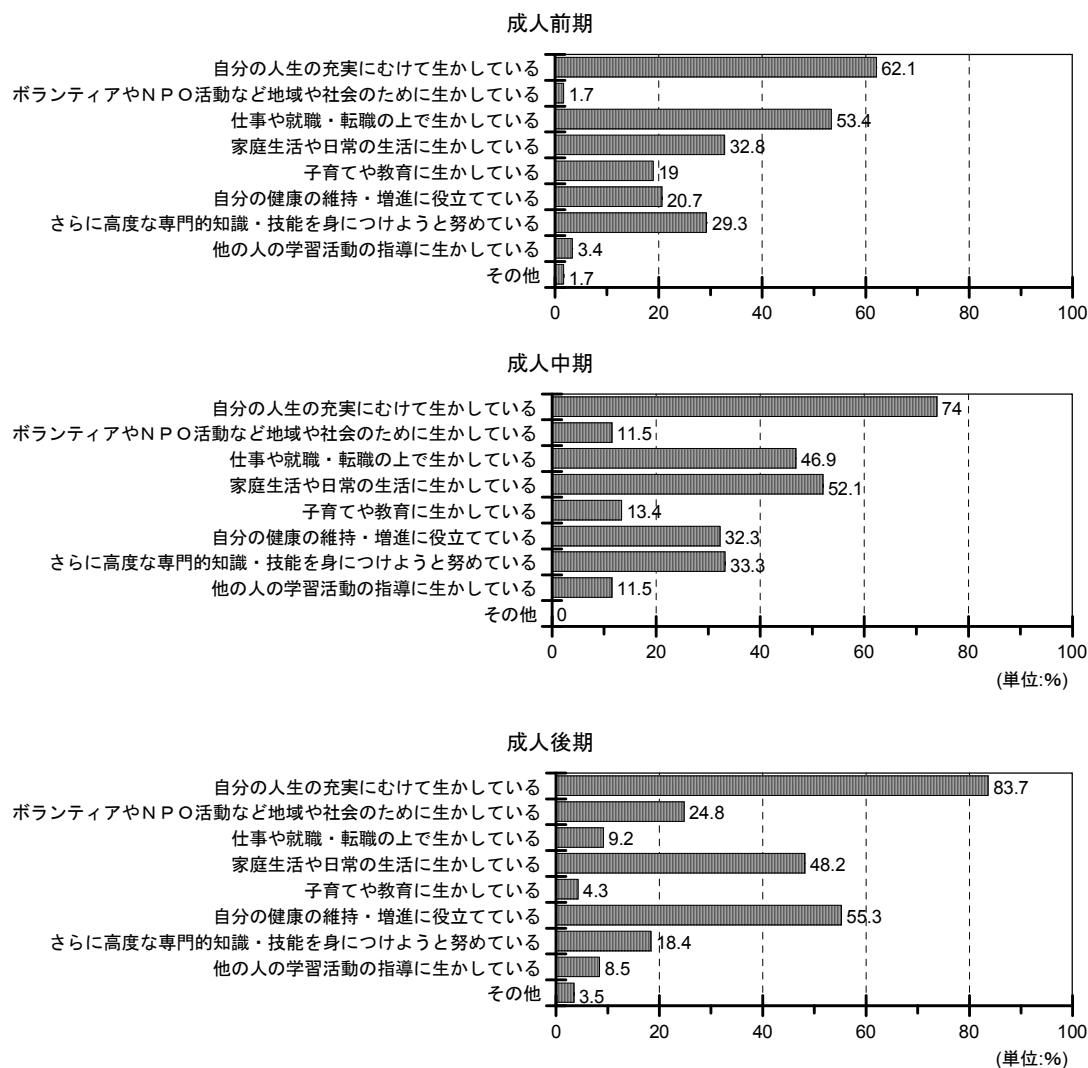


図 46 年代別にみた生涯学習成果の活用内容

(2) 生涯学習成果の活用のニーズ

1) 生涯学習成果の活用のニーズ

回答者が、生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験を今後どの程度生かしたいのかをみたのが、図 47 である。

その結果、生涯学習成果を「ぜひ生かしたい」と回答した人の率は 19.8%、「できれば生かしたい」人の率を合わせると、85.1%の人が生涯学習成果を「生かしたい」と回答していた。

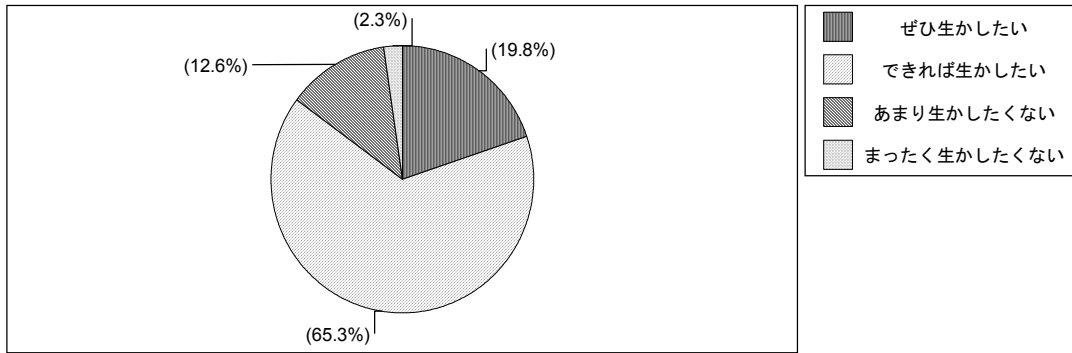


図 47 生涯学習成果の活用のニーズ

これを性別にみたのが、図 48 である。

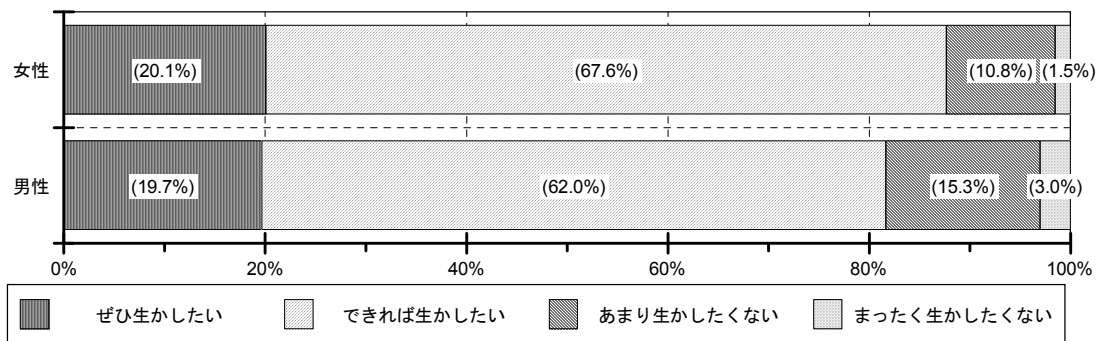


図 48 性別にみた生涯学習成果の活用のニーズ

その結果、生涯学習成果を「生かしたい」と回答した人の率は、「女性」で 87.7%、「男性」で 81.7%であり、「女性」の率が高くなっていた。

次に、年代別にみたのが、図 49 である。

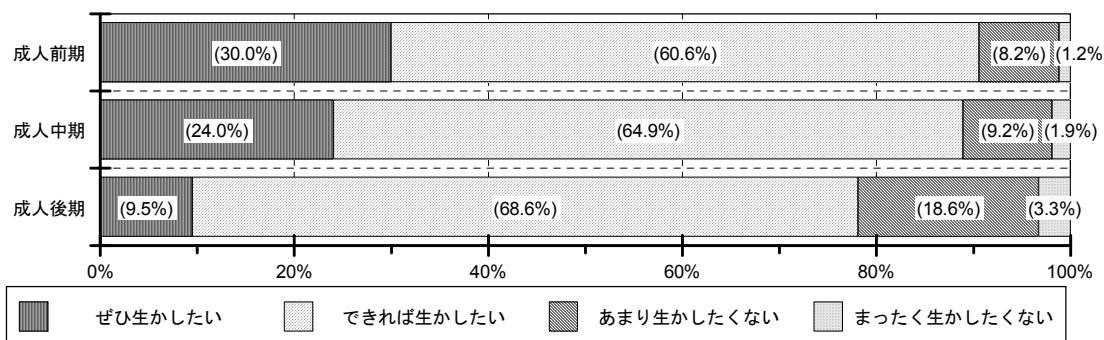


図 49 年代別にみた生涯学習成果の活用の程度ニーズ

その結果、生涯学習成果を「生かしたい」と回答した人の率は、「成人前期」の人で 90.6%、「成人中期」の人で 88.9%、「成人後期」の人で 78.1%であり、その率は「成人後期」の人でやや低くなっていた。

2) 生涯学習成果の活用内容のニーズ

生涯学習成果の活用内容のニーズをみたのが、図 50 である。

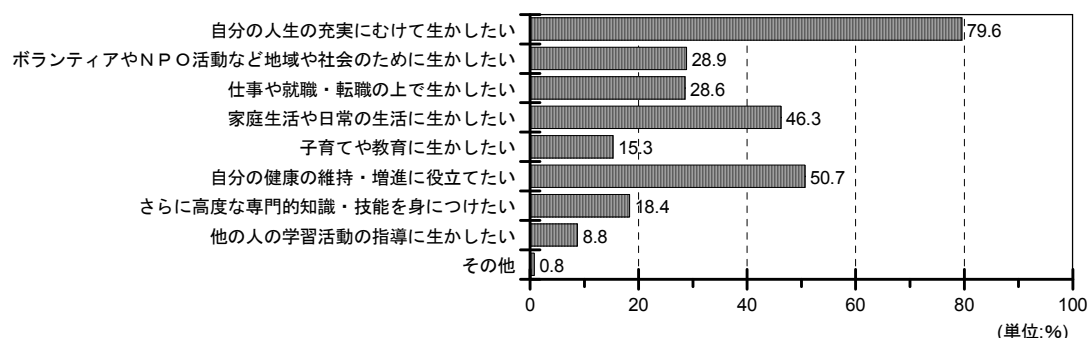


図 50 生涯学習成果の活用内容のニーズ

その結果、活用内容のニーズとしては、「自分の人生の充実にむけて生かしたい」をあげた人の率が 79.6%でもっとも高く、次いで「自分の健康の維持・増進に役立てたい (50.7%)」、「家庭生活や日常生活に生かしている (46.3%)」の順となっていた。

これを性別にみたのが、図 51 である。

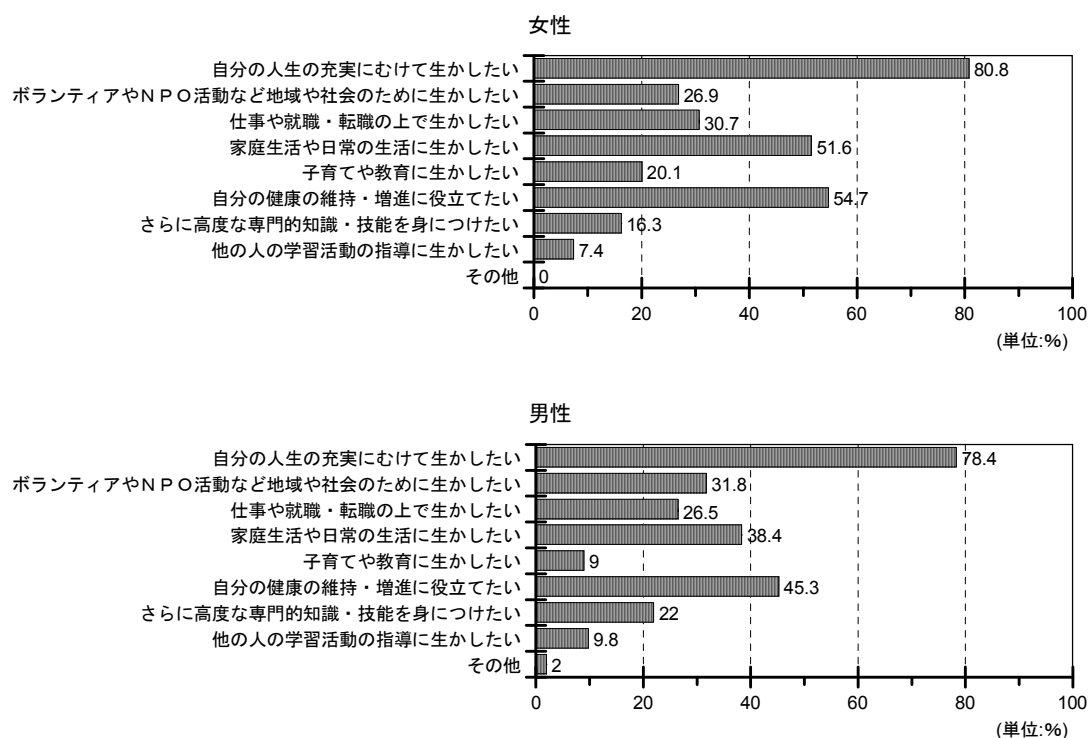


図 51 性別にみた生涯学習成果の活用内容のニーズ

その結果、男女とも「自分の人生の充実にむけて生かしたい」をあげた人の率がもっとも高く、次いで「自分の健康の維持・増進に役立てたい」、「家庭生活や日常生活に生かしたい」の順となっていた。

相対的にみると、「家庭生活や日常生活に生かしたい」、「子育てや教育に生かしたい」、「自分の健康の維持・増進に役立てたい」では「女性」の、「ボランティアやNPO活動など地域や社会

のために生かしたい」と「さらに高度な専門的知識・技能を身につけたい」では「男性」の率が高くなっていた。

次に年代別にみたのが、図 52 である。

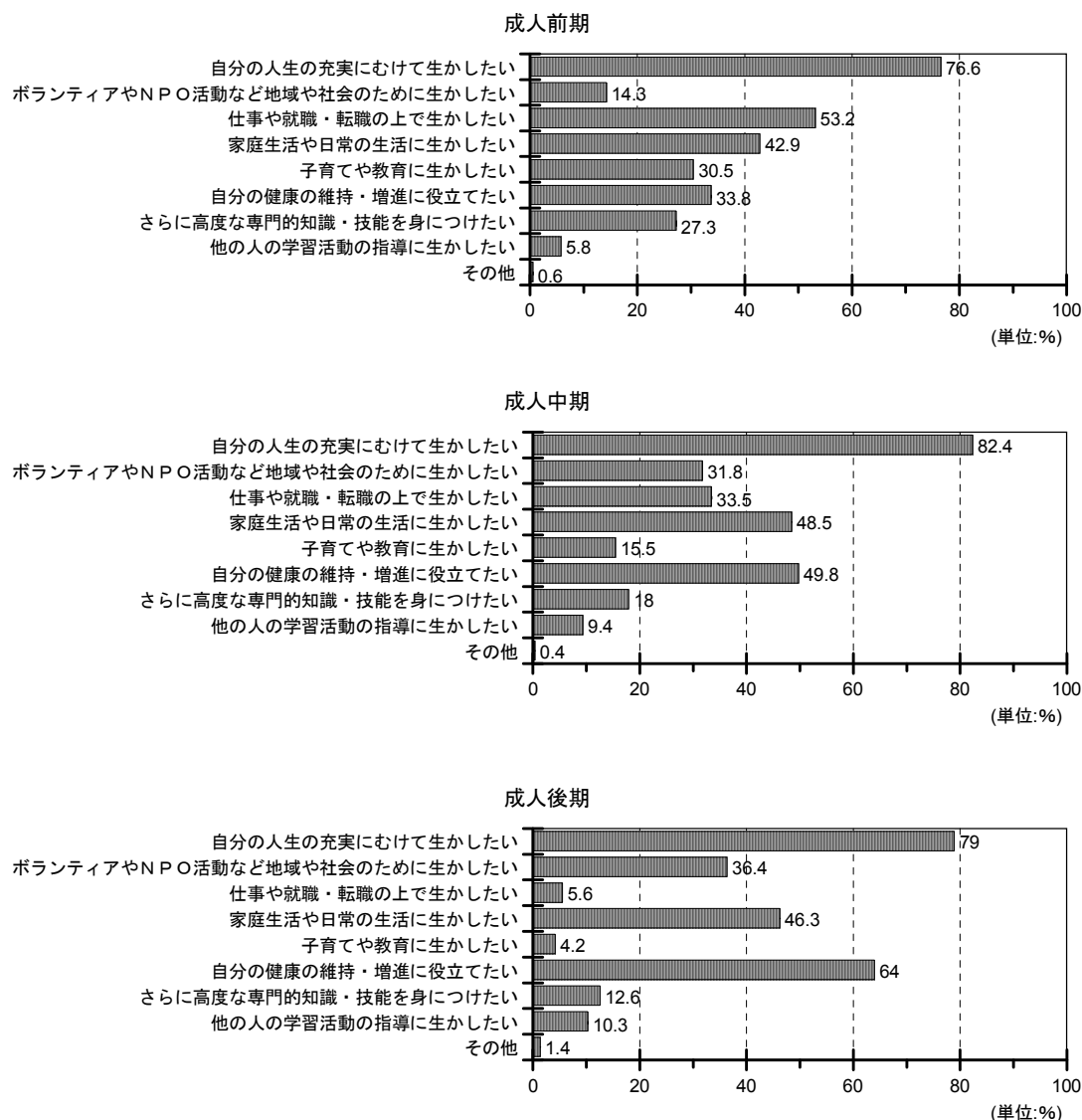


図 52 年代別にみた生涯学習成果の活用内容のニーズ

その結果、すべての年代で「自分の人生の充実にむけて生かしたい」をあげた人の率ももっとも高いことは共通していたが、次いで「成人前期」の人では、「仕事や就職・転職の上で生かしたい」、「家庭生活や日常の生活に生かしたい」の順、「成人中・後期」の人では「自分の健康の維持・増進に役立てたい」、「家庭生活や日常の生活に生かしたい」の順となっていた。

相対的にみると、「仕事や就職・転職の上で生かしたい」、「子育てや教育に生かしたい」、「さらに高度な専門的知識・技能を身につけたい」では「成人前期」の人の、「ボランティアや NPO 活動など地域や社会のために生かしたい」と「自分の健康の維持・増進に役立てたい」では「成人後期」の人の率が高くなっていた。